

令和5年7月6日
島根県立出雲高等学校
教諭 飯塚 洋
TEL:0853-21-0008
FAX:0853-22-7855
メール:iizuka-hiroshi@edu.pref.shimane.jp

出雲高等学校 パワーアップセミナーの実施について
(文部科学省指定 スーパー・サイエンス・ハイスクール事業)

この度、文部科学省が指定するスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）事業の一環として、添付資料のとおり講演会を実施します。

出雲高等学校 パワーアップセミナーの実施について
(文部科学省指定 スーパー・サイエンス・ハイスクール事業)

1 実施の目的

Society5.0 による高度化した情報化社会の中で、データの重要性が増してきている昨今、データを集め、分析し、よりよい社会構築に利用するデータサイエンスの果たす役割は大きい。

出雲高校は SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業を始めてから今年で 11 年目となる。トップサイエンティストの育成や社会のリーダーとなる人材育成のために、身近な課題を自分事として捉え、自ら課題を設定して解決のための方法を思考・検証しながら学ぶ「課題研究」を中心に教育活動を行っている。

本校の課題研究でも、SDGs の視点から社会課題・地域課題に取り組む生徒は多い。現状を質的・量的データによって正確に把握したうえで、高校生らしい視点から解決を模索するために、データサイエンスという手法は欠かせないものになってきている。そこで、今回はデータサイエンスに携わっておられる島根大学数理・データサイエンス教育研究センターの瀬戸 和希氏を招き、データを科学的に解釈することの重要性について学ぶ。

2 日時 令和 5 年 7 月 13 日（木） 14：00 から 15：30

3 場所 出雲市民会館大ホール
(出雲市塩冶有原町 2－15 TEL：0853-24-1212)

4 講師 島根大学数理・データサイエンス教育研究センター
助教 瀬戸 和希（せと かずき） 氏

5 演題 「数理・データサイエンスの視点－データを科学的に解釈するとは－」

6 参加者 出雲高校全校生徒・全教職員・保護者（希望）

7 実施団体 島根県立出雲高等学校 校長 村松 洋子